

吉川地区住民福祉活動計画

愛称:よしかわ支え合いプラン

計画期間:令和5年度～令和7年度 【3ヵ年】

基本理念

”いつまでも住み続けたい「よしかわ」、みんなで活動しよう！”



(三床山から見た吉川地区)

計画策定の背景と経過

現在、核家族が増え、急速に高齢化が進みつつあります。これから、いつまでも住み続けたい「よしかわ」にするためには、地域住民や各種団体などの支援がより重要になってくると思われます。そんな中、令和3年度に実施した吉川地区全世帯を対象にした「福祉に関するアンケート調査」の結果や、地区社協役員、区長、民生委員児童委員、福祉委員などでの座談会より、地域のつながりを強化する必要があるなどの様々な課題が出てきたので、策定委員会を立ち上げ本計画をつくりました。

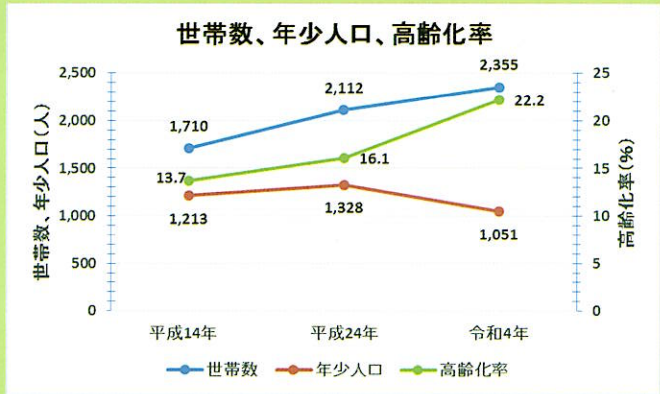
令和5年3月

鯖江市吉川地区社会福祉協議会

吉川地区の特徴

年	人口(男)	人口(女)	人口(計)	世帯数	高齢化率	年少人口
平成14年(2002)	3,033	3,163	6,196	1,710	13.7	1,213
平成24年(2012)	3,450	3,594	7,044	2,112	16.1	1,328
令和4年(2022)	3,471	3,594	7,065	2,355	22.2	1,051

人口：人 高齢化率：%(65歳以上人口÷全人口) 年少人口：14歳以下 (各年4月現在 データは鯖江市役所より)



- ・人口と世帯数は増加しているが、近年は人口の増加が鈍っている。
- ・高齢化率は上がっている。現在、10年前、20年前とも鯖江10地区中でもっとも低い地区となっている。
- ・年少人口(14歳以下)は、10年前は増加していたが、現在は減少している。

世帯数が増えているのに人口がそれほど増えていないことから、1世帯の人数が減少し、核家族化が進んでいるといえる。

吉川地区は自然環境が豊かで、主な産業は農業で宅地以外はほとんどが水田や畑となっている。多くの住民は他地区や隣の福井市と越前市に通勤・通学している。地区内に総合病院やショッピングセンター等はなく、隣の地区や市町に出かけている現状がある。このことは、自動車による移動だと利便性が良く、住みやすい地区と考えられる。

「福祉に関するアンケート調査」からの住民意識

(1) 「福祉に関するアンケート調査」の方法と内容について

調査方法 区長を通じて各戸1部調査票配布・郵送による回収

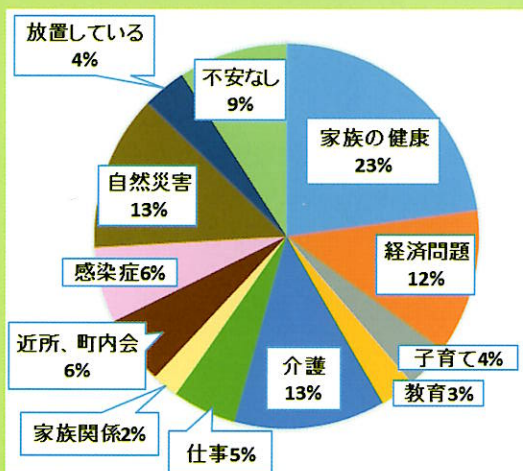
調査期間 令和3年11月25日～令和3年12月25日

配布数 2,298件、回収数 648件、回収率 28.2%

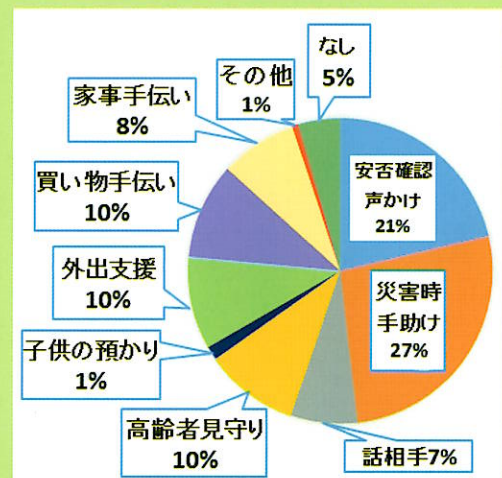


(2) 主な住民意識 (アンケート調査結果抜粋)

問6 あなたのご家庭では、普段どのような悩みや不安を感じていますか (あてはまるものすべてに○)



問11 あなたやご家族が、高齢や病気、もしくは障がいなどで日常生活が不自由になったとき、地域でどのような手助けをして欲しいと思いますか(あてはまるものすべてに○)



主な福祉活動計画

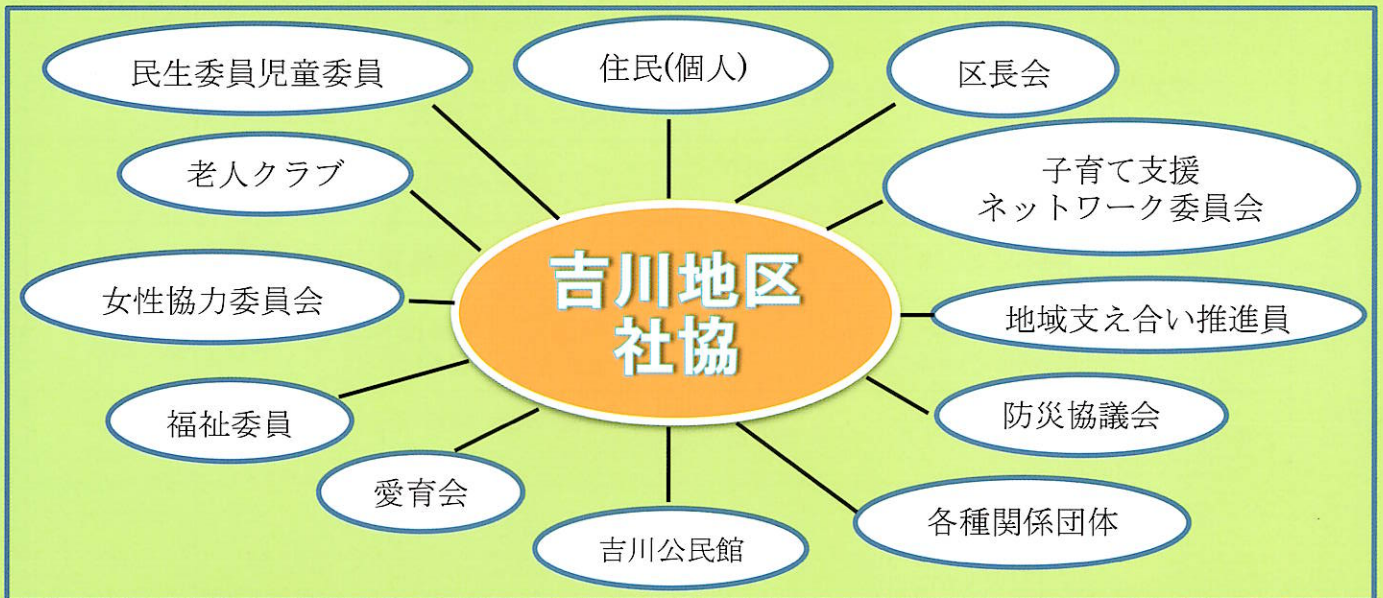
※太字は重点活動

基本目標	重点目標	課題	主な活動	主な活動実施単位
地区社会福祉協議会活動の促進	地区社協の役割の検討	新たな課題も含め事業の検討・実施が必要	地区社協の活動について、研修や検討を実施	地区
		福祉委員の目的や活動が不鮮明	地区社協として、福祉委員の活動について研究	地区
	情報発信強化と相談先の周知	地区社協の活動、役割、目標について認知度が低い	「よしかわ社協だより」の発行	地区
		SNSによる情報の発信が必要	SNSによる情報発信を強化	地区
		いざという時に、何処に連絡すればよいか分からない	相談先や各種団体の説明をまとめたものを発行	地区
	交通手段の検討	自家用車以外の交通手段が不便	交通手段の研究および施策の実施	地区 町内
コミュニティバスが不便		コミュニティバスに加え、オンデマンドタクシーの運行を検討し、市に要望	地区	
つながり支え合う地域づくり	地域のつながりを強化	地域のつながり、支えあいの必要性を発信する必要がある	地域のつながり、支えあいの必要性を啓発	地区 町内
		仲間とつながる場が少なくなっている	ふれあいサロンや老人クラブなどの設立および維持	町内
		地域とつながる場が少ない	地域の交流事業の実施や町内公民館の利用など交流の場づくり	地区 町内
		近隣との会話が少なくなっている	あいさつ運動の実施	地区 町内
	町内での支え合いの推進	町内に支え合いの仕組みがない	必要に応じ町内での生活支援を行う体制づくり	町内
	地域でのボランティア活動の推進	地域のボランティアグループの組織化が必要	地区ボランティアセンターについて検討	地区
安心して暮らせる地域づくり	平常時の見守りや孤立防止	町内に見守りや孤立をなくすための体制づくりが必要	町内において見守りや孤立をなくすためのご近所福祉ネットワークづくり	町内
	災害対策と災害時避難行動支援体制づくり	災害時の避難行動支援の取組の推進	町内における防災体制(ご近所防災)づくり	町内
		町内で個別避難行動支援計画を作る必要がある	町内で避難行動要支援者の個別避難計画を作成	町内
子育てを支援する地域づくり	地域ぐるみの子育て応援	通学や遊び場に危険性がある	子どもにとって危険場所の点検、安全確保	地区 町内
		地域での子育て支援が必要	町内等の地域で子育て・子どもの見守り	町内
		子どもの頃からの福祉学習が必要	子どもの頃からの福祉教育の実施	地区 町内

計画の推進

(1) 住民、団体、地区社会福祉協議会の連携強化による推進

この計画を進めるためには、地区内の様々な人や団体が連携して取り組む必要があります。吉川地区社会福祉協議会は、この連携のネットワークの核としての役割を果たすよう取り組みを進めます。また、必要に応じ計画の推進を検討する委員会を設置する。



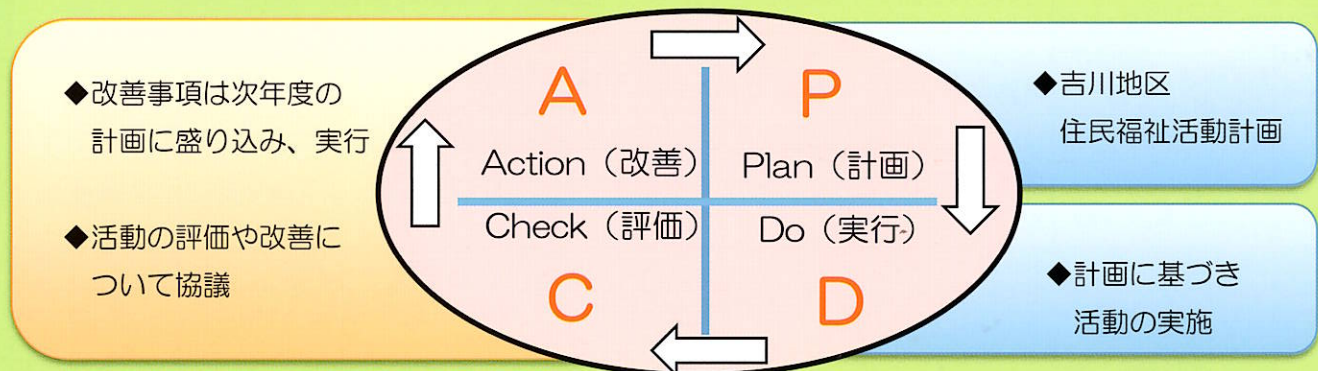
(2) 重点活動の設定

効率的に計画を推進するために、早急に、また優先的に実施すべき活動を「重点活動」として計画の推進を図る。なお、重点活動は、前記「吉川地区住民福祉活動計画」において太字で表記した。

計画の進捗管理

(1) PDCAサイクルによる活動の進捗管理

P: 計画の策定 (Plan) ⇒ D: 計画の実行 (Do) ⇒ C: 点検・評価 (Check) ⇒ A: 見直し・改善 (Action) のPDCAサイクルにより、活動の継続的改善を図ります。



常任役員会で、計画の進捗状況や達成度を評価し、必要に応じて適時見直し等を行い、より良い活動や取り組みの実施に努めます。

(2) 総会での年度計画と活動報告

毎年度総会において活動報告を行う。あわせて常任役員会で行った計画の進捗状況や達成度の評価の報告も行う。

(3) 地区民に対する活動報告

よしかわ社協だよりやホームページを通し、地区民に対し事業報告を行う。